

第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：審査員特別賞（低学年の部）

タイトル：おまわりさんはみんなの味方

氏名：伊藤 遙（イトウ ハルカ）

小学校名：長崎県 私立長崎南山小学校 三年

わたしのお父さんは、おまわりさんです。いつも、けいさつしょに行ってお仕事をがんばっています。でもわたしは、一度もせい服すがたを見たことはありません。お母さんに、「お父さんって、本当におまわりさんなの？」

と聞いた事があります。お母さんは、

「そうよ。おまわりさん。でもせい服を着ないおまわりさん。」

と教えてもらいました。家ではむ口でゴロゴロしているお父さんが想ぞうできませんでした。

ある時、お父さんのけいたいになると、だらっとしていたお父さんが、大きな声で話しはじめ、気がついたら家にいませんでした。わたしは、

「どうしたのかなあ。」

と少し心配になりました。わたしはお母さんに、

「お父さんはなんで仕事に行っちゃったの？」

と聞くと、

「お父さんは休みの日でも、何かあったら仕事にいかなくちゃいけない。」

と言っていました。

わたしは、お父さんもほかのおまわりさんも今は悪い人をつかまえたりして、一生けんめいがんばっているんだなあと思いました。

同じおまわりさんでも、たくさんの仕事があって、こわい所もだれよりも早くいかなくちゃいけない。毎日わたしたちのために、身の回りの安全やみんなの事を守ってくれてありがとうございます。

正直、あぶない所は行ってほしくはないのが本当の気持ち。あぶない所だけは、ロボットがしてくれたら、心配じゃないのに。

どうか、おまわりさんのみなさん、毎日、気をつけてお仕事おねがいします。

お父さん、元気に帰ってきてね。